

事務事業名		全国大会等出場者支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	スポーツ立市推進係	担当課長名	関口 吉丸	
	施策	1 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 競技スポーツの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15066	一般	10	5	1	全国大会等出場者支援事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成17年度～ 年度		根拠法令 条例等	実施方法		直営			
	事業区分		事業分類		支援事業		リーディングプロジェクト		該当		
	市長マニフェスト		3-14								

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)				平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
全国・関東規模のスポーツ大会に、市内の小・中学生、高校生、大学生及び一般成人が個人又は団体において県予選を通過し出場する場合、これら選手・チームに出席祝金を贈呈し激励する。				壮行祝金を98件交付した。							
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)				
交付件数		件	85	98	100	100	100				
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
全国・関東規模のスポーツ大会に出場する個人及び団体				対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
大会に出場する個人及び団体数				人・チーム	47	69	75	75	75	75	
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
出場者の経済負担を軽減するとともに、選手を激励する。				成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
交付金額				千円	6,075	3,440	2,500	2,500	2,500	2,500	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
資質向上を望む選手の技術、体力などの能力が向上している。				上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
県大会で入賞した個人及び団体の数				組		240	250	260	270		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	6,075	3,440	2,500	2,500	2,500	
	事業費計(A)	千円	6,075	3,440	2,500	2,500	2,500	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償金	6,075	報償金	3,440	報償金	2,500
	人件費	人	1	1	1	1	1	
のべ業務時間	時間	80	50	50	50	50		
人件費計(B)	千円	311	197	197	197	197		
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,386	3,637	2,697	2,697	2,697		

事務事業名	全国大会等出場者支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	スポーツ立市推進係
-------	--------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	対外試合に参加する市民の経済軽減と出場選手の激励を目的に、旧佐野市で昭和58年より始まった祝金制度を合併後も踏襲している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	市の予算圧縮に連れ、補助金検討委員会等により交付額縮小の提言があり、その方向で調整している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	議会等で補助金増額の要望があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	全国大会等へ出場する選手を支援することは、本市のスポーツ推進につながる為、施策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市民のスポーツ活動への支援なので妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	全国大会等に出場する佐野市のスポーツ選手に対する事業であるため妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	全国大会等の出場選手に対する支援事業であるため、成果向上余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事務事業を担当している職員も最低限の1人で対応しているため、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	全国大会等の出場選手に対する支援事業であるため、適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	本大会での活躍を期待し、全国大会等の出場者を激励する機会をなくしてしまうので廃止・休止はできない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 関東大会以上の規模の大会に参加・出場する選手、チームへの壮途金の金額を見直す。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持	○		×	低下		×	×	壮途金については、内規で支出基準を決めてあり、要綱での支出基準を明確にする必要がある。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上																						
維持	○		×																			
低下		×	×																			